

# 課題調査

## 第 I 部 調査の概要



## 1 調査の目的

県政の直面する重要な課題や県民生活に関するテーマにおける県民ニーズを把握し、今後の行政施策の展開に資することを目的とする。

## 2 調査内容

- (1) 環境に配慮した生活
- (2) 生物多様性
- (3) 神奈川県農業
- (4) 食の安全・安心
- (5) 食・食育
- (6) スポーツ
- (7) 東京2020大会に向けた取組
- (8) 神奈川の文化芸術
- (9) 県立都市公園
- (10) かながわの広報
- (11) ヘルスケアICTの取組
- (12) がん・肝炎対策
- (13) 「未病改善」の取組
- (14) 人生100歳時代の設計図
- (15) とともに生きる社会かながわ
- (16) 「手話」への興味・関心
- (17) 配偶者等からの暴力
- (18) 治安対策
- (19) 地震対策の取組

## 3 調査設計

- |            |                         |
|------------|-------------------------|
| (1) 調査地域   | 神奈川県全域                  |
| (2) 調査対象   | 県内在住の満18歳以上の男女          |
| (3) 標本数    | 3,000標本                 |
| (4) 標本抽出方法 | 住民基本台帳からの層化二段無作為抽出      |
| (5) 調査方法   | 郵送による配布及び回収             |
| (6) 調査期間   | 平成29年10月6日（金）～10月30日（月） |
| (7) 調査機関   | 株式会社 タイム・エージェント         |

## 4 回収結果

- (1) 全体の回収結果

標本数	3,000標本
有効回収数	1,278標本
有効回収率	42.6 %

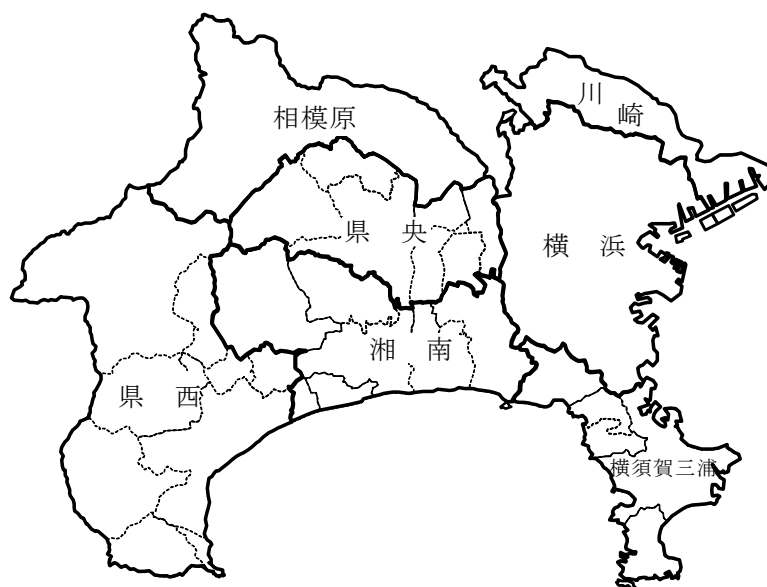
(2) 地域別の回収結果

地 域		設計標本数	有効回収数	有効回収率
横浜	横浜市	1,180	482	40.8%
川崎	川崎市	460	179	38.9%
相模原	相模原市	240	90	37.5%
横須賀三浦	横須賀市、鎌倉市、逗子市、三浦市、葉山町	260	115	44.2%
県央	厚木市、大和市、海老名市、座間市、綾瀬市、愛川町、清川村	300	111	37.0%
湘南	平塚市、藤沢市、茅ヶ崎市、秦野市、伊勢原市、寒川町、大磯町、二宮町	440	186	42.3%
県西	小田原市、南足柄市、中井町、大井町、松田町、山北町、開成町、箱根町、真鶴町、湯河原町	120	54	45.0%
無 回 答			61	
全 体		3,000	1,278	42.6%

5 標本の抽出方法について

- ① 県内を7地域に分類し、さらに各地域を人口規模によって層化した。
- ② 各地域・人口規模別の層における18歳以上の人口（平成28年1月1日現在の推計値）により、3,000標本を比例配分した。
- ③ 比例配分した標本数を20（1地点あたりの標本数）で除し、地点数を算出した。

地域区分図



## 地点数及び標本配分

地域	人口50万人以上の市	人口50万人未満の市	町 村	計
横 浜	3,131,915人 59地点 1,180標本	-	-	3,131,915人 59地点 1,180標本
川 崎	1,218,134人 23地点 460標本	-	-	1,218,134人 23地点 460標本
相模原	606,491人 12地点 240標本	-	-	606,491人 12地点 240標本
横須賀三浦	-	582,356人 12地点 240標本	26,308人 1地点 20標本	608,664人 13地点 260標本
県 央	-	670,984人 14地点 280標本	36,421人 1地点 20標本	707,405人 15地点 300標本
湘 南	-	998,657人 20地点 400標本	90,893人 2地点 40標本	1,089,550人 22地点 440標本
県 西	-	200,855人 4地点 80標本	94,156人 2地点 40標本	295,011人 6地点 120標本
人口計	4,956,540人	2,452,852人	247,778人	7,657,170人
地点数計	94地点	50地点	6地点	150地点
標本数計	1,880標本	1,000標本	120標本	3,000標本

※ 人口数は、「神奈川県年齢別人口統計調査（平成28年1月1日現在）」（県統計センター）をもとに、18歳以上の各市区町村の人口を積算したものである。

## 6 集計・分析にあたって

- (1) 集計にあたっては、小数第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が全体の計に一致しないことがある。
- (2) 標本数「n」は「number of case」の略で、質問に対する回答者数を表す。
- (3) 図中「0」、表中「-」は皆無を示す。
- (4) 図表中の選択肢は、回答率の高い順に並べ替えている場合がある。また、表記の語句を短縮・簡略化している場合がある。
- (5) 《 》は、2つ以上の選択肢を合わせて分析する場合に用いる。（例えば、「非常に重要である」と「かなり重要である」を合わせたものを《重要である》と表現している。）また、この場合の比率は実際の回答者数の合計から算出しているため、個々の比率の単純な合計とは値が異なる場合がある。
- (6) 数値間の比較で大小関係を示す場合は、個々の選択肢の比率の差をとり、「・・・ポイントの差」と記載した。
- (7) 男女の18～19歳などのサンプル数の少ない属性については参考値であり、グラフ上で数値が高いものでも有意差がなく、分析で触れていない場合がある。
- (8) 【地域別の状況】【性・年代別の状況】の図表では、地域や性・年代が不詳の者がいるため、内訳の合計が全体の回答者数と異なっている。
- (9) 集計結果の一部について、精査の結果、速報と数値が異なる項目がある。

## 7 調査結果の誤差

この調査は、全数調査ではないので、調査結果の数値は真の値（全数調査をした場合に得られる数値）と異なることがある。これを標本誤差という。

層化二段無作為抽出の場合、信頼度 95%のときの標本誤差は次の式で算出される。

$$b = \pm 2 \sqrt{2 \frac{N-n}{N-1} \times \frac{P(1-P)}{n}}$$

$b$  = 標本誤差  
 $N$  = 母集団数  
 $n$  = 回答者数  
 $P$  = 回答比率

上の式により、回答者数 (n)、および回答比率 (P) ごとに信頼度95%のときの標本誤差 (%) を計算すると、おおよそ次表のとおりとなる。

回答比率 (P) \ 回答者数 (n)	10%または 90%前後	20%または 80%前後	30%または 70%前後	40%または 60%前後	50%前後
1,278	± 2.37	± 3.16	± 3.63	± 3.88	± 3.96
1,200	± 2.45	± 3.27	± 3.74	± 4.00	± 4.08
1,000	± 2.68	± 3.58	± 4.10	± 4.38	± 4.47
800	± 3.00	± 4.00	± 4.58	± 4.90	± 5.00
600	± 3.46	± 4.62	± 5.29	± 5.66	± 5.77
400	± 4.24	± 5.66	± 6.48	± 6.93	± 7.07
200	± 6.00	± 8.00	± 9.17	± 9.80	± 10.00
100	± 8.49	± 11.31	± 12.96	± 13.86	± 14.14

※上表は  $\frac{N-n}{N-1} \div 1$  として算出している。

注) この表の見方

例えば、「ある設問の回答者数 (n) が 1,278 で、その設問中の選択肢の回答比率が 60%であった場合、その回答比率の誤差は 95%の信頼度で、±3.88%以内（真の値は、56.12%～63.88%）である」とみることができる。

## 8 回答者の属性

(1) 居住地域 (n=1, 278) (%)

横浜	37.7
川崎	14.0
相模原	7.0
横須賀三浦	9.0
県央	8.7
湘南	14.6
県西	4.2

(無回答 4.8)

(2) 性別 (n=1, 278) (%)

男性	44.1
女性	52.8

(無回答 3.1)

(3) 年齢 (n=1, 278) (%)

18～19歳	0.3
20～29歳	6.6
30～39歳	15.2
40～49歳	23.3
50～59歳	17.8
60～69歳	19.7
70～74歳	8.0
75歳以上	8.0

(無回答 1.1)

(4) 子どもの状況(複数回答) (n=1, 278) (%) (5) 家族形態 (n=1, 278) (%)

小学校入学前	14.1
小学校在学中	12.6
中学校在学中	7.6
高校在学中	8.0
短大、専門学校等在学中	1.7
大学、大学院等在学中	7.4
学校教育終了[未婚]	22.5
学校教育終了[既婚]	23.4
その他	4.0
子どもはいない	24.3

(無回答 2.0)

一人暮らし(単身世帯)	11.0
夫婦のみ(1世代世帯)	25.1
親と子の世帯(2世代世帯)	50.9
祖父母と親と子の世帯(3世代世帯)	7.1
その他の世帯	4.6

(無回答 1.2)

(6) 職業区分 (n=1, 278) (%) (6-1) 有職者の職業内容 (n=816) (%)

自営業主・ 家族従業者	自営業主	5.9
	家族従業者	2.3
勤め・内職	勤め(フルタイム)	39.6
	勤め(パートタイム)	16.0
	内職	0.1
主婦・主夫(勤めについていない)		16.4
学生		1.5
無職		14.0
その他		0.8

無回答 ( 3.4)

自営業主・ 家族従業者	農林水産業	1.1
	商工サービス業	6.5
	自由業	4.7
	経営・管理職	6.3
勤め・内職	専門・技術職	22.2
	事務職	21.1
	教育職	5.3
	技能・労務職	10.7
	販売・サービス職	19.6

無回答 ( 2.7)

